

リーディング起業家創出事業3年間まとめ

大学発ベンチャー創出モデル事業 (福島テックプランター)

この事業を通し4チームが法人化しました。また、年々口コミなどで福島テックプランターの認知度が増し、盛り上がりを見せています。

年度	エントリー	ファイナリスト	事業化加速採択	法人化
2018年度	15 チーム	9 チーム	5 チーム	2 社
2019年度	20 チーム	9 チーム	7 チーム	1 社
2020年度	20 チーム (22 テーマ)	9 チーム	6 チーム	1 社
合計	55 チーム (57 テーマ)	27 チーム	18 チーム	4 社

参加校：7校/19校 (ACF加盟校)



第1回福島テックプランングランプリ
【開催日】2019年2月9日
【会場】コラッセふくしま (福島市)



第2回福島テックプランングランプリ
【開催日】2019年7月27日
【会場】ビューホテルアネックス (郡山市)



第3回福島テックプランングランプリ
【開催日】2020年7月11日
【会場】ホテルハマツ (郡山市)

- 法人化したチーム
- 2018年度エントリー
- エースバイオアナリシス株式会社
- 株式会社カナLABO
- 2019年度エントリー
- 株式会社Weavgent
- 2020年度エントリー
- AizuBT 株式会社

未来の起業家育成事業 (未来の起業家育成プログラム)

この事業に参加した学生たちの学校や参加年度を超えての交流が生まれています。また、数名の学生が福島テックプランターへエントリーしました。

年度	セミナー	ワークショップ	実地研修	実地研修行き先
2018年度	102名	18名	9名	アメリカ シリコンバレー
2019年度	71名	34名	8名	東京都内
2020年度	32名	12名	6名	オンライン
合計	205名	64名	23名	

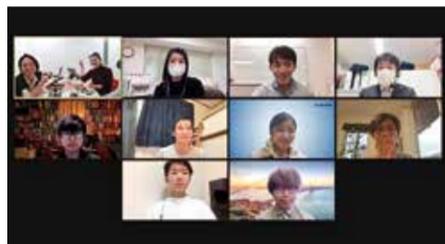
参加校：5校/19校 (ACF加盟校)



アメリカシリコンバレー視察研修
2019年2月17日～21日



東京都内視察研修
2020年2月25日～27日



オンライン実地研修
2021年2月25日～26日

れんけい

臨時号

令和2年度 福島県リーディング起業家創出事業特集号

令和3年3月31日 発行
発行 アカデミア・コンソーシアムふくしま事務局
住所 〒960-1296
福島市金谷川1番地 (福島大学地域連携課内)
電話 (024) 548-5295
メール acf@adb.fukushima-u.ac.jp
URL http://acfukushima.net/

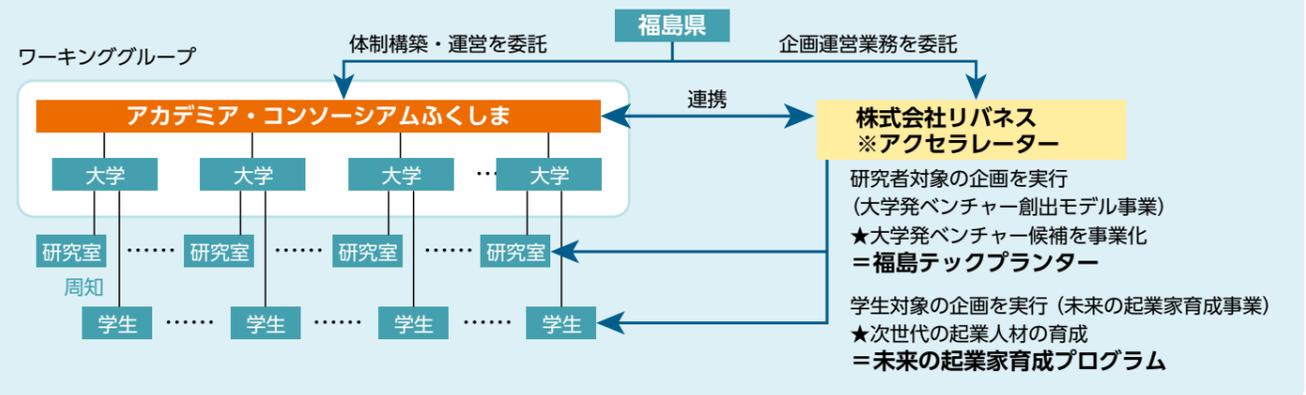
リーディング起業家創出事業概要

いま、新しい産業の創造や雇用の創出のために、大学発ベンチャーへの期待が高まっています。しかし、福島県内の大学等による大学発ベンチャーは、年間1件～2件程度と、少ない状況で推移しています。これを受け、福島県では平成30年度より、アカデミア・コンソーシアムふくしまの加盟大学と共に、起業意欲の醸成、大学発ベンチャー候補の発掘、事業の立ち上げ支援までを一体的に実施し、そのロールモデルを創出する事業 (大学発ベンチャー創出モデル事業) を展開しており、今年度で3年目 (最終年度) となります。これまでに既に法人発足に至った大学発ベンチャーもあります。

また、こうしたロールモデルにはその担い手が欠かせません。そのため、次世代の起業家人材を輩出するべく、大学等在学中に起業意欲を持った学生を育む事業 (未来の起業家育成事業) も同時に展開しています。

このように、研究者のシーズ発掘、起業支援と学生のアントレプレナーシップ醸成を整えた、大学発ベンチャー創出エコシステムを形成することを目的としたのが、福島県リーディング起業家創出事業です。

大学発ベンチャー創出に向けた、**県内初**の全県的な取組体制を構築しました！



取組概要

大学発ベンチャー創出モデル事業 (福島テックプランター) 研究者対象



未来の起業家育成事業 (未来の起業家育成プログラム) 学生対象



大学発
ベンチャー創出
モデル事業

第3回福島テックプランングランプリを開催しました!



福島テックプランターの流れ

研究室訪問

事業会社とのマッチングイベント
「福島テックプランングランプリ」

支援事業費の交付

ベンチャー設立

今年で3回目になる「第3回福島テックプランングランプリ」が2020年7月11日、郡山市ホテルハマツで開催されました。21チームの中から書類選考を経て選ばれた9チームのファイナリストが、企業の役員等の審査員を前に、自身の研究成果と社会実装に向けた熱のこもったプレゼンテーションを行いました。起業家としてはこのイベントがゴールではなく、ここからスタートです。

福島テックプランングランプリのファイナリストは、事業化に向けて特許出願などの知財支援や、プロトタイプ作成のための資金を援助する事業化加速支援を受けることができます。そのような制度を活用し、事業の加速化を行っていただければと思います。

(※支援を受けるための審査あり)

その他、今年の基調講演は、香川大学発ベンチャーの株式会社未来機械代表取締役 三宅徹氏に「未来の機械をゼロから作り出す」をテーマにご講演いただきました。

また、ファイナリストプレゼン後には、ライトニングトークやポスターセッションを行い、研究者と来場者が情報を交換しました。

令和2年度大会 最終選考会プレゼンター

Wonder.Wonder	【代表】 荊 雷 (会津大学)	
○最優秀賞	○クレハ賞	○NEST iPLAB賞
スピントロニクスラボ	【代表】 石川瑞恵 (日本大学工学部)	
○ACSL賞	○JR東日本賞	
夢成	【代表】 陳 文西 (会津大学)	
エコラボ	【代表】 梅村一之 (医療創生大学)	
Agro-remediation Lab	【代表】 石川尚人 (福島大学)	
エンピコン	【代表】 車田研一 (福島工業高等専門学校)	
○菊池製作所賞		
Alpha Robot Park	【代表】 武藤伸洋 (日本大学工学部)	
愛助	【代表】 奥山祐市 (会津大学)	
○福島ロボットテストフィールド賞		
Aizu-Breakthogh	【代表】 岡 隆一 (会津大学)	



ファイナリストのプレゼンテーション



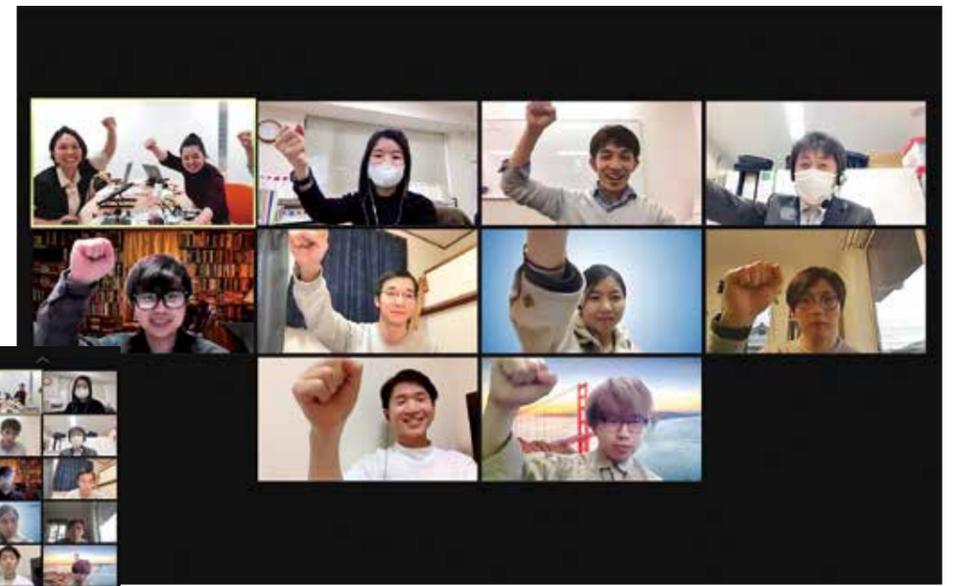
ポスターセッションの様子 (写真: 漆原未代)



授賞式の様子 スピントロニクスラボ代表 石川氏

未来の起業家
育成事業

オンライン実地研修を行いました!



未来の起業家育成プログラムの流れ

キャリアディスカバリーセミナー

キャリアディスカバリー
ワークショップ

事前研修1

事前研修2

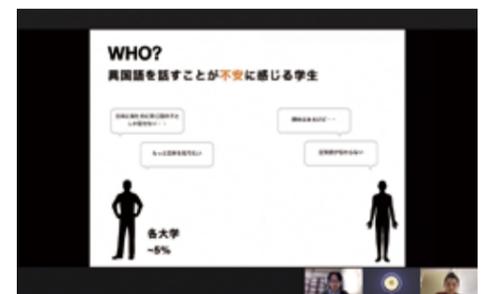
実地研修

2020年10月のキャリアディスカバリーセミナーからスタートしたこのプログラムでは、最終目標である実地研修を2021年2月25日、26日の2日間、オンラインで開催しました。

1日目 挑戦し続ける人になるための極意を学ぶ

実地研修初日、学生がこれまで温めてきたビジネスプランを企業の方々へぶつけるときがきました! 今年にはベンチャーキャピタルやリアルテックの分野で活躍されている4企業の社長やマネージャーの方々へオンラインでご参加いただき、学生のプレゼンテーション発表やディスカッションを行いました。

リアルテックホールディングス株式会社【グロースマネージャー】 山家創氏、熊本大樹氏
株式会社ニューロスペース【代表取締役社長 CEO】 小林孝徳氏
株式会社メルティンMMI【代表取締役】 粕谷昌宏氏
ボールウェブ株式会社【代表取締役社長】 赤尾慎吾氏



学生プレゼンテーションの様子

2日目 自分のアイデアを形にする

2日目は、自分が提供するサービスに関係のある企業や個人にあらかじめアポイントを取り、オンラインでインタビューを行いました。

1日目と違い、異分野ではなく、同分野でご活躍されている企業の方々へのインタビューであったこともあり、学生が考えたサービスが業界ですでに存在していたり、自分のサービスを実現させるには、専門知識を身につける必要があると気づきがあったという感想が聞かれました。中には海外の企業にインタビューを行った学生もあり、日本をターゲットにしていたサービスが、実は海外にもニーズがあると発見していました。

2日間という短い期間の中で、自分のやりたいことを実現するためにはどのような必要があるのか? 起業家としてのスタートを体験できたのではないのでしょうか。



2日目のインタビューの様子

参加学生感想



(企業との) ディスカッションがめちゃくちゃ楽しかったです。度胸もついてきました。普段自分で考えるだけでは出てこない考え方を学びました。



課題を見つけて解決する為の方法を考える力がつきました。



2日目の対談が少し不安でしたが、なんとか終わることができたのでよかったです。事業を立案するには心のエネルギーを途絶えさせない努力と幅広い教養が必要だと感じました。